

松浦市の未来を考える —平成30年度松浦市子ども議会開催—



「子ども議会」開催

11月6日、市議会議場において「子ども議会」を開催しました。

子ども議会は、松浦市の未来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらい、地域の一員として主体的に考え、社会に参加する意欲を育てることを目的に開催しています。

子ども議会では、議事進行を行う議長や副議長を中学生議員の中から選出します。本年度は、市内中学校から議員として20人が参加し、総合学習などで学んだことを意見や提案、質問として発言し、市長をはじめ、各担当課長の答弁を受けました。

「子ども議会」の目的

- ・子どもたちに市の取り組みや実態などを正しく知ってもらう。
- ・子どもたちに議会や行政について学んでもらう。
- ・松浦市をもっと住みやすいまちにするために、みんなで率直な意見や考えを出し合う。

当日の質問内容を紹介します

当日、子ども議員は各学校単位で市長らに質問を行いました。その一部を紹介します。 ※内容は一部要約して掲載しています。



▲大石菜々紗 議員



▼大下莉奈 議員

松浦市志佐町の公園の整備と有効な利用方法について

志佐中学校

・大石菜々紗 議員

・大下莉奈 議員

・末吉恭菜 議員

【質問】大石議員、大下議員

公園など市民が自然に集まって交流できるスペースを有効活用して人と人のつながりを強め、人の魅力を地域の魅力として発信できないかと考えました。

現在、松浦市が管理している

公園のうち、志佐町中央公園の管理状況および再整備計画等の有無について教えてください。

【答弁】食と観光のまち推進課長

中央公園やトイレの清掃は、市で修繕や管理をする人を雇っています。プランターの管理は、これまで松浦ロータリークラブという団体がボランティアで作業されていましたが、管理を続けるのが難しい状況にあるというお話をいただいております。今後の管理のあり方について検討する必要があります。また、イベントの前に、市内の企業がボランティアで草刈りなどを実施していただく場合もあります。

【答弁】都市計画課長

平成31年にオーストラリア・マツカイ市との姉妹都市提携から30周年になることを記念して、中央公園の再整備を計画しています。予定では、本年11月頃から設計を手がけ、平成31年11月頃に工事完了としております。

【質問】末吉議員

中央公園を整備して、市民が気軽に集うことができ、有効利用できるようなスペースにしてはどうでしょうか。

【答弁】市長

中央公園は、近隣に市立図書館や子育て支援施設のURACC、松浦駅や志佐商店街などがあり、平成32年4月には市役所北側に市民福祉総合プラザが、平成32年10月には松浦中央病院（仮称）が開設される予定となっています。このように教育、子育て、福祉、商業、交通などの施設が集中する中心市街地に位置していることから、多くの方が行き交うものと想定されます。

市といたしましては、これを好機と捉え、人が行き交う賑わいの場、市民が気軽に集う場として活性化を図りたいと考えております。

まずは、31年度にマツカイとの交流30周年にちなんだ整備を検討しておりますので、末吉議員のご提案も踏まえまして、検討して参りたいと思います。

【追加質問】大石議員

先ほどの答弁にあったボラン

ティアでの作業が難しい理由と中央公園の再整備計画について具体的に教えてください。

【答弁】食と観光のまち推進課長

この団体は、柚木川内キャンプ場や道路公園なども作業しており、人数的な面から比較的大変な場所の作業を引き続き実施していただいている状況です。

【答弁】都市計画課長

具体的な内容として、まずはマツカイ市との友好をイメージできるような要素（名称やメニューメントの設置など）を取り入れたいと考えています。



▲末吉恭菜 議員

